

## 国際理解セミナー「デンマーク王国」開催

令和6年1月30日（火）に、令和5年度の国際理解セミナーが勤労市民センターにて開催されました。今回は令和6年に姉妹都市提携35周年を迎えるオーデンセ市のある、デンマーク王国を取り上げました。



デンマークについて説明するマヤソフィー・ブアゴー氏

まず嘉規洋会長より、多文化理解のためにインドから始まったセミナーも今回で16回目を迎えること、これからも協会の活動への支援をお願いしたいことなどが話されました。続いて松戸徹船橋市長より、市の教育・福祉に関わる施策には、オーデンセ市との交流が大きく関わっていること、能登の地震のような災害がこれからも起きるかもしれないが、市民一人一人が交流の窓口としてお互いに心配し合える関係を作りましょうとご挨拶がありました。

セミナーの前半は駐日デンマーク王国大使館次席公使マヤソフィー・ブアゴー氏より、まずデンマーク政府から能登地震のお見舞いの報告がありました。

その後、デンマークの特徴として、デンマークが世界一幸せな国と言われる理由は、社会的平等、男女平等、社会福祉の充実があること、SDGs達成率世界3位であることを挙げられました。特に男女機会均等も進み、女性の就業率も高くなり、議会の女性議員も40%だそうです。農業ではミルク、チーズも有名ですが、有機栽培も盛んに行われているそうです。また自転車のインフラが整備されていて、安心して乗れるの

で自転車人口が増えていて、大気汚染フリーに貢献しています。なんと冬でも自転車で雪の上を走るそうです。社会福祉の面では、所得税50%と高い税率ですが、その分病院、大学などが無料で社会福祉が充実しています。最後にふなばしアンデルセン公園にも是非行ってみたい、姉妹都市として共通の問題解決など協力関係は重要であるとお話になりました。

質疑応答では、来場者から、家事の男性との分担、少子高齢化にどのように対応しているか、など活発な質問が出されました。

後半は、デンマークからの留学生2人によるスピーチと、インターナショナルフェスティバルでもおなじみのYurikoさんら自由学園の卒業生によるデンマーク体操との出会いについてのスピーチとデンマーク体操の実演があり、来場者からも良いセミナーだったとの感想をいただきました。



日本語でスピーチをするデンマークからの留学生



デンマーク体操を実演する自由学園卒業生

## 災害時外国人支援サポーター養成講座開催

令和5年11月25日（土）に、船橋市役所11階大会議室にて災害時外国人支援サポーター養成講座が開催されました。これは、毎年協会主催で市内のサポーターを養成するために行っているものです。講師に（一社）国際多文化研修ラボ代表理事の松本義弘先生をお招きして、3時間にわたり、災害時に外国人を支援するために役立つ方法として、「やさしい日本語」力をつける、訓練参加を呼びかける、相談窓口の情報提供などについてお話を伺い、ワークショップを行いました。24名の参加者は、真剣に講師の話を聞いた後、実際の災害時に必要な「炊き出しの時間と場所のチラシ」や「避難所での注意事項」などを、やさしい日本語に書き換えるワークショップを行いました。

「やさしい日本語」の普及のきっかけは阪神淡路大震災で、全ての外国人の言語に対応しては時間がかかる、それなら「やさしい日本語」で一度に発信した方が良いという教訓からです。「やさしい」がひらがなで書かれているのも、簡単な日本語という意味と、相手に優しい、親切な日本語という意味があります。漢字が読めない人、英語がわからない人、発音が伝わ

らない人、が差別と感じないように工夫することが必要だと学びました。情報は素早く伝わるようにデジタル発信することも大切であり、このようなサポーター養成講座を行うことや、避難所で情報収集する訓練を繰り返し行うことが大切だと話されました。

参加者へのアンケートでは、相手に優しく接することが学べた、ワークショップが役に立った、多言語支援の実践編が船橋市でもあるといい、などの回答があり、多くの方がまた受講したいと答えました。



グループワークの様子

## 外国人のための防災講座開催

令和6年1月21日（日）、低温、強風、小雨のあいにくの天候の下、午後1時半から船橋市役所の大会議室で、「外国人のための防災講座」が開催されました。折しも能登半島地震直後の開催となりましたが、中国やベトナム国籍の方など10名が参加しました。

前半は、国際交流協会事務局長の片桐卓氏が講師となり、“やさしい日本語”で書かれ、イラストや写真もふんだんに盛り込まれた「災害にそなえる」をテキストに、地震や水害への対応、避難所や帰宅支援施設の使い方、家での備蓄や防災リュックなどについて説明しました。また合間に「トイレ用凝固剤」の使用実験も行われ、子供たちが固まった凝固剤に興味深そうに触れてみる一幕もありました。

後半は市役所正面玄関前に移り、市危機管理課職員のお話の後、まずは用意された「起震車」に乗り込んで地震の揺れを体験しました。震度6～7の強い揺れには、参加者もその強烈さにびっくりした様子でした。

その後、人には無害の煙が充満した「煙中テント」を通り抜ける体験をしました。市危機管理課職員は「体を低くして進んで！ 水に濡れたハンカチを口に当てるといいですよ！」などの声をかけていました。

最後に市より災害時用の保存ビスケットが提供されました。



煙の中を逃げる練習

## 地域会議を開催

令和6年1月22日（月）船橋市役所11階大会議室にて、令和5年度の船橋市国際交流協会地域会議が開催されたので取材に行ってきました。会員の皆さんにはあまり馴染みのない会議の名前かもしれませんが、「外国人住民と共に暮らしやすい地域づくりを実現するため、外国人住民に関わる諸課題への取り組みを協議する」会議として、平成29年に発足しました。会議には、市自治会連合協議会、船橋警察署、船橋東警察署、千葉県行政書士会葛南支部、千葉県弁護士会外国人の権利委員会、船橋商工会議所、市関係者、市内の日本語学校などのメンバーが参加しています。

今回の会議では、アドバイザーとして、やさしい日本語講座講師の土井佳彦氏、オブザーバーとして、東京出入国在留管理局在留支援部門からも出席があり、相談例の情報をいただきました。市の国際交流課からは、JETプログラムを活用した中国とベトナムの国際



交流員の任用と活動の紹介がありました。現在船橋市在住の外国人住民数は、中国人が1位、ベトナム人が2位となっています。この交流員のお二人はSNSを使って、同国出身の住民に情報発信をしています。また、行政書士会からは、留学や労働の現場、生活で困っていることの相談がないか質問があり、答えていました。

国際交流協会からは、片桐事務局長から協会の活動の紹介があり、課題として、家族滞在の子どもたちの日本語学習支援を通じ、高校卒業と在留資格変更が将来の就労にとって大切であることを、親や本人に周知することが必要であることが報告されました。

取材して、協会の将来の事業展開にとっても様々な立場の意見が聞ける大切な会議だと感じました。

\*外国人在留支援センター  
FRESC(フレスク)では、外国人に関わる様々な相談を受け付けています。

こちらのサイトも  
ご覧ください。 →



## ウクライナ避難民の皆さんが書き初めを体験しました

ウクライナ避難民の皆さんと日本語を勉強して2度目の冬。書き初め会を思い立った。皆さんには10ほどの言葉を示し、そこから好きなものを選んでもらうことにした。最初はこわごわ筆を持ち「漢字は難しいからひらがなにするわ」と言っていた皆さん、枚数を重ねるうち「愛」や「夢」といった画数の多い漢字に果敢に挑戦！「先生、一緒に書きましょう！」書き順通り、しかもきれいに書きたいと意欲的になっていった。「…うーん、もう一回！」「別の言葉も書きたい」と何枚も書く人もあった。台紙に貼って「辰」の朱印を落款がわりに押せばご覧の通り立派な作品に。「本当におもしろかった。筆を買おうかな」「家族に『すごい！』と褒められた」「家に飾っている」という感

想が聞けて企画した私たちも笑顔になった。

それでも、来年の正月には我々と2度目の書き初め会をすることなく、母国で安心して生活してほしい。少し寂しいけれど、心から、そう願っている。

(会員ボランティア：  
福岡祥子)



完成した書き初めに満足そうなみなさん

# お知らせ

## ◎令和6年度も外国語講座（英語、中国語、ベトナム語）を開催します。

多くの方に受講していただきたいのですが、定員が7名となっています。英語講座のプログラムをお知らせしますので、関心のある講座にお申し込みください。英語講座はレベルを指定しません。苦手を克服してコミュニケーションがとれるよう講師がお手伝いします。

講座の期間	申し込み期間	苦手の克服	会話やトレーニングの部
4～6月	2月10日～3月9日(受付終了)	リーディング	短いストーリーを読む
7～9月	5月10日～6月9日	英語的思考への転換	自分の伝えたいことを説明
10～12月	8月10日～9月9日	スピーキング	日本を伝える文化・習慣
R7 1～3月	11月10日～12月9日	リスニング	会話や歌を聞いて感想

中国語講座、ベトナム語講座の申し込み期間も同じです。レベルはメールマガジンの募集でご確認ください。

## ◎令和6年度総会を開催します

多くの会員の皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

**日時:** 令和6年5月16日(木) 14時から16時

**会場:** 船橋商工会議所

**その他:** 総会后、懇親会を行う予定です。

(会費制3,000円、事前申込制)

総会資料及び出欠回答票等は、4月下旬に郵送する予定です。

\* 今後の変更については、協会ホームページ、メールマガジンでお知らせします。

## ◎令和6年度 会費納入のお願い

船橋市国際交流協会の活動は、会員の皆様の年度会費で支えられています。令和6年4月から令和7年3月までの会費を、令和6年4月25日までに納入お願いいたします。

年度会費 団体 1口 10,000円 個人一般 1口 2,000円 個人学生 1口 1,000円

※ 2口以上納入される場合は、お手数ですが通信欄へ口数のご記入をお願いします

振込先 ゆうちょ銀行 口座番号 00170-7-57755

加入者名 船橋市国際交流協会

千葉銀行 船橋市役所出張所 口座番号 普通 3018415

口座名義人 船橋市国際交流協会 会長 嘉規 洋

### 訃報

ハイワード船橋姉妹都市委員会名誉委員長のレイ鶴本様が、1月12日に逝去されました。

レイ鶴本様は、ハイワード船橋姉妹都市委員会初代委員長として、妻の故世津子様とともに、船橋市国際交流協会をはじめ、船橋市とハイワード市の交流に長年ご尽力されました。

協会よりご家族に、弔文と献花をお送りしました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## ◎メールマガジン送信元アドレス変更のお知らせ

令和5年7月頃から発生していた一部の方にメールマガジンが届かない事象について改善を図るため、この度、船橋市国際交流協会メールマガジンの送信元アドレスを変更させていただきましたこととなりました。すでにメールマガジンにご登録いただいている方は改めての登録手続き等は不要です。ドメイン指定受信・拒否設定をされている方、受信フォルダの振り分け設定をされている方におかれましては、大変お手数ですが、設定の変更をお願いいたします。

■ 令和5年12月26日まで ⇒ [firaoffice@gmail.com](mailto:firaoffice@gmail.com)

■ 令和5年12月27日から ⇒ [info@fira.jp](mailto:info@fira.jp)

詳しくは、協会ホームページをご覧ください。